

科目名	整形外科学						
科目名(英)	Orthopedic Surgery						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	九州大学整形外科教室		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	医師として病院勤務		
対象学科・学年	作業療法学科 夜間部 2年						
授業概要	整形外科の基礎知識、各種治療法、整形外科疾患について理解する。整形外科疾患とリハビリテーションとの関わりについて理解し、臨床実習で必要な知識を習得する。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				整形外科疾患に関する基礎知識について説明できる。	
	○	○				整形外科における各疾患の成り立ちや臨床像を説明できる。	
	○	○				整形外科疾患の日常生活上での身体的制約が説明できる。	
	○	○				リハビリテーションにおいてセラピストが関わる整形外科疾患の治療実践を説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	教科書:「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 整形外科学」(最新版) 医学書院						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	整形外科概論 (整形外科とは、運動器の評価及び検査法、治療法)			テキストを用いた復習		
	2	骨折 1 (上肢の骨折:受傷機転、病態、治療)			テキストを用いた復習		
	3	骨折 2 (体幹・下肢の骨折:受傷機転、病態、治療)			テキストを用いた復習		
	4	脊髄損傷			テキストを用いた復習		
	5	関節における外傷性疾患 (捻挫(TFCC)、脱臼(肩・肘・股関節など))			テキストを用いた復習		
	6	末梢神経における外傷性疾患 1(外傷性疾患各論)			テキストを用いた復習		
	7	末梢神経における外傷性疾患 2(絞扼性神経障害・その他)			テキストを用いた復習		
	8	腱・靭帯における外傷性疾患(筋・腱・靭帯の概論、腱板断裂、手の腱損傷)			テキストを用いた復習		
	9	スポーツ障害(スポーツ障害の概論、急性・慢性のスポーツ外傷)			テキストを用いた復習		
	10	熱傷、切断と離断(熱傷の病態、治療、切断・離断の原因、部位、義肢、その他)			テキストを用いた復習		
	11	先天性骨・関節疾患(代表的な疾患とその特徴)			テキストを用いた復習		
	12	循環障害と壊死性疾患(骨壊死、骨端症など)			テキストを用いた復習		
	13	骨・軟部腫瘍			テキストを用いた復習		
	14	神経・筋疾患(脳性麻痺、神経麻痺)			テキストを用いた復習		
15	脊椎の疾患(脊柱の変形、奇形、椎間板ヘルニア)			テキストを用いた復習			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				100%
	レポート						
	発表						
	発表・作品						
履修上の注意							

科目名	神経内科学Ⅱ						
科目名(英)	Neurological Medicine Ⅱ						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	光田 努		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	理学療法士として施設に勤務		
対象学科・学年	作業療法学科 夜間部 2年						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業療法が関わる障がい、どのような疾患から起因するかを知る。</li> <li>・神経内科疾患の成り立ちを知ることで、患者分析に必要な生理学的見解が出来るようになる。</li> <li>・神経内科疾患の症状を理解することで、作業療法治療上でのリスク管理を理解する。</li> </ul>						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				神経内科疾患の現状を説明できる。	
	○	○				神経内科における各疾患の特徴が説明できる。	
	○	○				神経内科疾患の日常生活上での身体的制約が説明できる。	
	○	○				作業療法士が関わる神経内科疾患の治療実践を説明できる。	
	○	○		○		作業療法の中で神経内科疾患治療の必要性を説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 神経内科学 医学書院 PT・OT基礎から学ぶ神経内科学ノート 医歯薬出版						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	頭蓋内圧亢進症と脳ヘルニア、水頭症			教科書で予習しておく。		
	2	脳血管障害Ⅰ、(疫学、分類、合併症、症状、治療)			まとめプリントを使用して復習しておくこと。教科書で予習しておく。		
	3	脳血管障害Ⅱ、診断(臨床症状による)、リハビリ訓練			まとめプリントを使用して復習しておくこと。教科書で予習しておく。		
	4	認知症、記憶障害			まとめプリントを使用して復習しておくこと。教科書で予習しておく。		
	5	脳腫瘍と外傷性脳損傷			まとめプリントを使用して復習しておくこと。教科書で予習しておく。		
	6	神経内科と脊髄疾患(神経内科領域、脊髄損傷)			まとめプリントを使用して復習しておくこと。教科書で予習しておく。		
	7	変性疾患、脊髄小脳変性症関連(小脳症状解説)			まとめプリントを使用して復習しておくこと。教科書で予習しておく。		
	8	変性疾患、運動神経変性(筋萎縮性側索硬化症など)			まとめプリントを使用して復習しておくこと。教科書で予習しておく。		
	9	脱髄性疾患、多発性硬化症			まとめプリントを使用して復習しておくこと。教科書で予習しておく。		
	10	パーキンソン病と失調症、不随意運動			まとめプリントを使用して復習しておくこと。教科書で予習しておく。		
	11	単神経麻痺、末梢性ニューロパチー、ギランバレー症候群			まとめプリントを使用して復習しておくこと。教科書で予習しておく。		
	12	筋疾患、筋炎、筋ジストロフィー症			まとめプリントを使用して復習しておくこと。教科書で予習しておく。		
	13	重症筋無力症、周期性四肢麻痺、代謝性疾患			まとめプリントを使用して復習しておくこと。教科書で予習しておく。		
	14	神経内科における感染症			まとめプリントを使用して復習しておくこと。教科書で予習しておく。		
	15	まとめ					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				100%
	レポート						
	発表						
	発表・作品						
履修上の注意							

科目名	小児科学						
科目名(英)	Pediatrics						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	九州大学 小児科		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	医師として病院勤務		
対象学科・学年	作業療法学科 夜間部 2年						
授業概要	小児科学の基礎知識の習得						
授業形態	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
	※ 主たる形態:○ その他:△						
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				新生児・未熟児の疾患について説明できる	
	○	○				先天異常と遺伝病について説明できる	
	○	○				小児期の神経系疾患、筋・骨格系疾患について説明できる	
	○	○				小児期の循環器・呼吸器・消化器疾患について説明できる	
	○	○				小児期の消化器・内分泌・代謝疾患について説明できる	
テキスト・教材 参考図書	標準理療学・作業療法学 専門基礎分野 小児科学:医学書院						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	1章:小児の発達				教科書で範囲の予習をしておく。	
	2	1章 2章:小児科概論・治療				教科書で範囲の予習をしておく。	
	3	3章:新生児・未熟児疾患				教科書で範囲の予習をしておく。	
	4	4章:先天異常と遺伝病				教科書で範囲の予習をしておく。	
	5	5章:神経・筋・骨系疾患 その1				教科書で範囲の予習をしておく。	
	6	5章:神経・筋・骨系疾患 その2				教科書で範囲の予習をしておく。	
	7	6章 7章:循環器・呼吸器疾患				教科書で範囲の予習をしておく。	
	8	8章:感染症				教科書で範囲の予習をしておく。	
	9	9章:消化器疾患				教科書で範囲の予習をしておく。	
	10	10章:内分泌・代謝疾患				教科書で範囲の予習をしておく。	
	11	11章 12章 14章:血液疾患 免疫・アレルギー疾患・膠原病 腫瘍性疾患				教科書で範囲の予習をしておく。	
	12	13章 17章:腎・泌尿器・生殖器疾患、眼科・耳鼻科的疾患				教科書で範囲の予習をしておく。	
	13	15章 16章:心身症・神経症など 重症心身障害児				教科書で範囲の予習をしておく。	
	14	まとめ				教科書で範囲の予習をしておく。	
15	まとめ						
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				100%
	レポート						
	発表						
	発表・作品						
履修上の注意							

科目名	精神医学Ⅱ						
科目名(英)	Psychiatry Ⅱ						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	島田 洋		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	医師として病院勤務		
対象学科・学年	作業療法学科 夜間部 2年						
授業概要	精神医学領域の疾患および治療法を理解する。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				精神医学領域の疾患について説明できる。	
	○	○				精神医学領域の治療法について説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	標準理理学療法学 作業療法学 専門基礎分野 精神医学:医学書院						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	てんかん			授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。		
	2	感情障害①			授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。		
	3	感情障害②			授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。		
	4	神経性障害①			授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。		
	5	神経性障害②			授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。		
	6	摂食障害・睡眠障害			授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。		
	7	パーソナリティ障害			授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。		
	8	知的障害・発達障害			授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。		
	9	治療①			授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。		
	10	治療②			授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。		
	11	法律・福祉			授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。		
	12	まとめ			授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。		
	13	まとめ			授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。		
	14	まとめ			授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。		
15	まとめ						
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○	◎				100%
	レポート						
	発表						
	発表・作品						
履修上の注意							

科目名	臨床医学講座 I						
科目名(英)	Clinical medicine course I						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	中山 仁		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	作業療法士として病院で勤務		
対象学科・学年	作業療法学科 夜間部 2年生						
授業概要	臨床医学の中で整形外科をはじめ、神経内科学や精神医学を中心に、国家試験の該当問題を解答できるよう知識を身につける。						
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		整形外科の疾患について、説明することや国家試験の問題を解答できる	
	○	○		○		神経内科学の疾患について、説明することや国家試験の問題を解答できる	
	○	○		○		精神医学の疾患について、説明することや国家試験の問題を解答できる	
テキスト・教材 参考図書	・病気がみえる ⑪運動器・整形外科 ・病気がみえる ⑦脳・神経 ・他、オリジナル資料						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション 整形、神経内科、精神科の疾患の概要				教科書の予習をしておく。	
	2	整形外科学 1)骨折 上肢(肩周囲:上腕、前腕)、手関節)				授業内容の復習を行い、配布されたオリジナル資料の準備を行う。	
	3	整形外科学 2)関節リウマチ RA				授業内容の復習を行い、配布されたオリジナル資料の準備を行う。	
	4	整形外科学 2)関節リウマチ OA				授業内容の復習を行い、配布されたオリジナル資料の準備を行う。	
	5	整形外科学 3)脊髄損傷 脊椎損傷				授業内容の復習を行い、配布されたオリジナル資料の準備を行う。	
	6	整形外科学 3)脊髄損傷 脊髄損傷				授業内容の復習を行い、配布されたオリジナル資料の準備を行う。	
	7	神経内科学 1)CVA(脳血管障害) 脳梗塞				授業内容の復習を行い、配布されたオリジナル資料の準備を行う。	
	8	神経内科学 1)CVA(脳血管障害) 脳出血				授業内容の復習を行い、配布されたオリジナル資料の準備を行う。	
	9	神経内科学 2)パーキンソン病				授業内容の復習を行い、配布されたオリジナル資料の準備を行う。	
	10	神経内科学 3)筋萎縮性側索硬化症				授業内容の復習を行い、配布されたオリジナル資料の準備を行う。	
	11	精神医学 1)精神疾患全般				授業内容の復習を行い、配布されたオリジナル資料の準備を行う。	
	12	精神医学 2)統合失調症				授業内容の復習を行い、配布されたオリジナル資料の準備を行う。	
	13	精神医学 3)感情・気分障害(うつ病/躁うつ病)				授業内容の復習を行い、配布されたオリジナル資料の準備を行う。	
	14	疾患 振り返り学習(国家試験、応用問題) まとめ 1				総合的理解の復習、解釈を行う。	
15	疾患 振り返り学習(国家試験、応用問題) まとめ 2				総合的理解の復習、解釈を行う。		
評価方法	(1)授業の中で演習・レポート課題を実施する。(2)14回:振り返り学習の中で「理解度チェック」を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験						
	小テスト	◎	◎		◎		40%
	宿題・レポート	◎	◎		◎		80%
発表・作品							
履修上の注意	※欠課などにより授業が受けられなかった場合は、テーマに沿ったレポート提出ができれば配点あり。						

科目名	リハビリテーション研究法						
科目名(英)	Research method in Rehabilitation						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	小野 仁 中山 仁		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	作業療法士として病院勤務		
対象学科・学年	作業療法学科 夜間部 2年						
授業概要	本科目は、臨床研究で求められる問題提起や目的、仮説設定、考察の仕方などについて学びます。実際のプロセスなどを研究例(事例など)から学び、研究計画を立て、遂行、発表するために必要な基礎的な知識・技能を学びます。						
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				研究手順を理解することができる	
	○	○				文献を検索し、管理することができる	
	○	○		○		文献を抄読し、発表することができ、発表に興味や関心を示した態度で参加できる	
	○	○		○		事例研究について理解することができ、発表に興味や関心を示した態度で参加できる	
	○	○				研究法への興味や意欲、関心を深める	
テキスト・教材 参考図書	作業療法士のための研究法入門 三輪書店						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	研究とは何か 論文紹介 課題①「テーマ探し」			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 「序」を読む 課題①「テーマ探し」		
	2	研究をするということ 作業療法と研究 研究疑問と研究の様式 課題 ②「仮説」:自分の疑問			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 課題②「仮説」		
	3	研究の倫理と管理			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 授業資料のまとめを復習しておく。		
	4	研究の流れ 研究期間の設定 文献レビュー			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 授業資料のまとめを復習しておく。		
	5	研究の流れ 研究計画の作成			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 授業資料のまとめを復習しておく。		
	6	文献検索の方法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 授業資料のまとめを復習しておく。		
	7	文献の管理と活用法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 授業資料のまとめを復習しておく。		
	8	文献抄読会 演習A資料作成			検索した文献を抄読し、発表資料をまとめる。 課題③「要約:アブストラクト作成」		
	9	文献抄読会 演習A発表			文献抄読 発表A-1		
	10	文献抄読会 演習A発表			文献抄読 発表A-2		
	11	文献的研究や理論的研究、調査研究、実験的研究、シングルケース研究、事例研究			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 授業資料のまとめを復習しておく。		
	12	事例研究 (シングルケース研究、事例研究)演習B資料作成			検索した文献を抄読し、発表資料をまとめる。 「文献抄読発表資料」		
	13	事例研究 (シングルケース研究、事例研究)演習B発表			文献抄読 発表B-1		
	14	事例研究 (シングルケース研究、事例研究)演習B発表			文献抄読 発表B-2		
15	国家試験「研究に関連する問題解説」 デザインと尺度、検定方法、他 まとめ			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 授業資料のまとめを復習しておく。			
評価方法	(1)課題①「テーマ」、②「仮説」、③「要約」(2)演習:「文献抄読A,Bの発表」※資料展も含む。を実施。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題作成	◎	◎				70%
	発表	◎	◎		◎		30%
履修上の注意	「文献抄読 演習A発表」及び「事例研究 演習B発表」は、作成時間を調整						

科目名	基礎作業学実習Ⅱ						
科目名(英)	Occupation Based Overview ; Practice						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	福井 綾		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	病院にて作業療法士として勤務		
対象学科・学年	作業療法学科 夜間部 2年						
授業概要	1. 作業療法における「作業」について教授する。 2. 作業分析について学び、実際に体験し発表を行う。 3. 「指導法」について学び、「作業の指導」を実際に体験する。 4. 作業の治療的な適用のしかたを学ぶ。						
授業形態	講義： △	演習： ○	実習： △	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					作業療法における「作業」について説明ができる	
	○	○				作業分析を実際に行うことによって、作業分析の理解をより深める事が出来る	
	○	○				学生同士で指導法を実施する事で、受ける側も理解でき、臨床に活かす事が出来る。	
	○	○				作業療法の臨床での治療的介入を理解する事が出来る。	
テキスト・教材 参考図書	長崎重信 監修：作業学、作業療法学ゴールド・マスター・テキスト2。メジカルビュー社、2010。 参考文献：吉川ひろみ：「作業」ってなんだろう(作業科学入門)。医歯薬出版、2008。日本作業療法士協会：作業・その治療的応用 改訂第2版。協同医学出版社、2003。古川宏：作業活動実習マニュアル。医歯薬出版、2012。小林夏子・福田恵美子：基礎作業学第2版(標準作業療法学・専門分野)。医学書院、2012。石川齊、古川宏 他：図解作業療法技術ガイド第3版。文光堂、2011。						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	作業について考えよう				配布プリントの復習	
	2	作業とは何か				配布プリントの復習	
	3	作業分析について				配布プリントの復習 1年次「基礎作業学実習Ⅰ」の資料・レポート復習	
	4	作業分析実習説明(小テスト含む)				配布プリントの復習 1年次「基礎作業学実習Ⅰ」の資料・レポート復習	
	5	作業分析実習(グループ課題)				必要文献の準備	
	6	作業分析実習(グループ課題)				必要文献の準備	
	7	作業分析実習(グループ課題)				必要文献の準備	
	8	作業分析実習(グループ課題)				レポート提出作成の準備	
	9	作業分析を臨床で活かす				レポート提出 まとめプリント配布	
	10	臨床場面での作業活動の支援				実習の必要物品の準備 指導計画書の作成	
	11	指導法体験実習(ペアで実習)				実習の必要物品の準備 指導計画書の作成	
	12	指導法体験実習(ペアで実習)				実習の必要物品の準備 指導計画書の作成	
	13	指導法体験実習(まとめ)				レポート提出、配布プリントの復習 まとめプリント配布	
	14	作業学習と指導法				レポート提出、配布プリントの復習	
15	まとめ・小テスト				全授業内配布プリント持参 小テスト範囲を復習		
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回実施する。(2)レポートを2回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	レポート	◎	◎				20%
履修上の注意							

科目名	作業療法管理学Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	大内田 由美		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	作業療法士として病院勤務		
対象学科・学年	作業療法学科 夜間部 2年						
授業概要	作業療法業務の管理運営とストレスマネジメントやリスクマネジメントについて基本的知識を学習する。また、作業療法士の臨床実習の目的や到達目標について学ぶ。						
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				作業療法士の職業倫理と職能団体としての意義と役割を説明できる。	
	○	○				作業療法部門の業務管理とストレスマネジメントを説明できる。	
	○	○				作業療法における安全管理について必要な意識と準備すべきことを説明できる。	
	○	○				インシデント・アクシデント報告書から要因と背景、対策を考え意見を言える。	
	○	○				作業療法士の臨床実習について目的や到達目標を述べるができる。	
テキスト・教材 参考図書	テキスト:大庭潤平・編著:作業療法管理学入門第2版. 医歯薬出版株式会社, 2021. 参考文献:金谷さとみ・高橋仁美・編:リハビリテーション管理・運営実践ガイドブック. メジカルビュー社, 2018						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	コースガイダンス・作業療法の法律と定義			授業の振り返り問題		
	2	作業療法士の職能団体としての意義と役割			授業の振り返り問題		
	3	作業療法士の職業倫理			授業の振り返り問題		
	4	作業療法部門の環境面と経済性			授業の振り返り問題		
	5	作業療法部門の人材育成について			授業の振り返り問題		
	6	作業療法部門の情報・時間・ストレスマネジメント			授業の振り返り問題		
	7	作業療法実践のための業務管理			授業の振り返り問題		
	8	医療におけるリスクマネジメントと医療事故			授業の振り返り問題		
	9	ヒューマンエラーについて			授業の振り返り問題		
	10	作業療法におけるリスクマネジメント			授業の振り返り問題		
	11	インシデント・アクシデント報告書とは			授業の振り返り問題		
	12	インシデント・アクシデント報告書演習(報告書の書き方)			演習資料の確認		
	13	インシデント・アクシデント報告書演習(背景と要因、対策について)			演習資料の確認		
	14	作業療法臨床実習の理解と管理体制			授業の振り返り問題		
15	作業療法のキャリア(ワークライフバランスについて)			授業の振り返り問題			
評価方法	(1)授業の中で小テストを3回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験						
	小テスト	○	○				100%
	宿題・レポート						
発表・作品							
履修上の注意							

科目名	作業療法評価学 I						
科目名(英)	Introduction to OT Assessment I						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	老川 良輔		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	作業療法士として病院勤務		
対象学科・学年	作業療法学科 夜間部 2年生						
授業概要	リハビリテーションにおける評価とは何かを学習する。 その中でも、面接・観察、その記録方法の概要を学習する。 作業に焦点を当てた評価ツールを用いて、作業療法における面接・観察の視点を学習する。						
授業形態	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					作業療法における評価の視点を説明できるようになる。	
			○	○		作業療法面接評価であるCOPM・OSA-IIを使用し、作業上の問題を聞き出せるようになる。	
			○	○		作業療法観察評価であるACIS・AMPSを用いて観察視点を増やすことができる。	
	○	○				人の作業上の問題が生じている理由を、人間作業セールの枠組みを使って説明することができる。	
	○				各評価の名称、対象、目的、使用方法を理解することができる		
テキスト・教材 参考図書	配布パワーポイント資料 ①COPM/AMPSスターティングガイド、②OSA使用者手引、③ACIS使用者手引						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	評価の意味と目的・・・作業療法評価とは何のために行うのか？			まとめプリントを使用して復習しておくこと		
	2	面説について／観察について			まとめプリントを使用して復習しておくこと		
	3	対象者の作業上の問題を知るための評価①(COPM概要)			まとめプリント/Classiを使用して復習しておくこと		
	4	COPM実施方法と演習			小テストを実施するため、授業資料で復習して、小テストの準備を行うこと		
	5	COPM評価演習			COPMの評価演習を行うため、授業資料を準備しておくこと		
	6	対象者の作業上の問題を知るための評価②(OSA概要)			まとめプリント/Classiを使用して復習しておくこと		
	7	OSA実施方法と演習			小テストを実施するため、授業資料で復習して、小テストの準備を行うこと		
	8	OSA評価演習			OSAの評価演習を行うため、授業資料を準備しておくこと		
	9	対象者の作業遂行の質を知るための評価(AMPS概要)			まとめプリント/Classiを使用して復習しておくこと		
	10	AMPS運動技能項目と演習			小テストを実施するため、授業資料で復習して、小テストの準備を行うこと		
	11	AMPS処理技能項目と演習			AMPSの評価演習を行うため、授業資料を準備しておくこと		
	12	対象者のコミュニケーションと交流技能を知るための評価(ACIS概要)			まとめプリント/Classiを使用して復習しておくこと		
	13	ACISを使用した事例			小テストを実施するため、授業資料で復習して、小テストの準備を行うこと		
	14	ACIS技能項目と演習)			ACISの評価演習を行うため、授業資料を準備しておくこと		
15	授業全体のまとめ			全てのテキスト/資料/自分の作成したレポートを用意しておくこと			
評価方法	(1)授業の中で小テストを4回実施する。(2)レポートを3回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験						
	小テスト		◎				40%
	宿題・レポート	◎		◎	○		60%
発表・作品							
履修上の注意							

科目名	義肢学						
科目名(英)	Prosthetics						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	安部 剛敏		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	作業療法士として病院勤務		
対象学科・学年	作業療法学科 夜間部 2年						
授業概要	<p>切断者における作業療法の目的と作業療法士としての役割について教授する。また、義手の作業療法に必要な知識・技術についても提示する。加えて先端技術である筋電義手についても学習を深める。</p> <p>近年、生活習慣の多様化により下肢切断者が増加していることを知り、義足の知識や情報についても教授する。</p>						
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				切断者のリハビリテーションにおける作業療法士の役割を理解することができる	
	○	○	○			断端管理をするためのソフトドレッシングができるようになる	
	○	○				能動義手の構造および適合検査について理解することができる	
	○	○				筋電義手の構造および適合について理解することができる	
	○	○				下肢切断者における作業療法の役割を理解することができる	
テキスト・教材 参考図書	<p>1)大庭潤平・義肢装具と作業療法. 医歯薬出版株式会社</p> <p>2)PT/OT国家試験 必修ポイント 基礎OT学. 医歯薬出版株式会社</p>						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	コースガイダンス、義肢学を学ぶ目的			振り返りシートで復習すること		
	2	人と手、上下肢切断概論			振り返りシートで復習すること		
	3	上肢切断における作業療法			振り返りシートで復習すること 小テスト①を実施します		
	4	切断術後の断端管理			振り返りシートで復習すること		
	5	ソフトドレッシング法実技			振り返りシートで復習すること		
	6	義手の分類・構造・部品			振り返りシートで復習すること 小テスト②を実施します		
	7	能動義手における作業療法			振り返りシートで復習すること		
	8	能動義手の適合検査			振り返りシートで復習すること		
	9	筋電義手における作業療法			振り返りシートで復習すること 小テスト③を実施します		
	10	義手の公的支給制度			振り返りシートで復習すること		
	11	上肢切断事例検討			振り返りシートで復習すること		
	12	上肢切断における作業療法まとめ			振り返りシートで復習すること 小テスト④を実施します。		
	13	下肢切断概論			振り返りシートで復習すること		
	14	下肢切断における作業療法			振り返りシートで復習すること		
15	義肢学まとめ			振り返りシートで復習すること			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを4回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	小テスト	◎	◎				20%
	宿題・レポート						
	発表・作品						
履修上の注意	場合によって、施設見学が入ることもあります。その際は事前にお伝えします。						

科目名	装具学						
科目名(英)	Orthotics						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	栗木 康介(福岡整形外科病院)		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	作業療法士として病院勤務		
対象学科・学年	作業療法学科 夜間部 2年						
授業概要	1.リハビリテーションにおける装具療法の目的と作業療法士の役割を理解する。 2.各種装具の目的と分類を知ることができる。 3.上肢疾患に対する装具の適応と役割、構造的特徴について理解する。 4.スプリント製作実習を通して製作手順を知り、チェックアウトもできるようになる。						
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				装具療法における作業療法士の役割を理解することができる	
	○	○				各種装具の特徴と適応を理解することができる	
	○	○				スプリントを製作することができ、チェックアウトもできるようになる	
テキスト・教材 参考図書	教科書:1)大庭潤平:義肢装具と作業療法 評価から実践まで. 医歯薬出版株式会社 参考文献:1)大嶋伸雄:身体障害領域の作業療法.中央法規、2)日本作業療法士協会:作業療法技術学1 義肢装具学.協同医書出版社、3)清水順市:リハビリテーション 義肢装具学. MEDICAL VIEW						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	コースガイダンス					
	2	装具学総論				授業内容に該当するテキスト、資料を復習する。	
	3	下肢装具総論				授業内容に該当するテキスト、資料を復習する。	
	4	脳血管障害における下肢装具				授業内容に該当するテキスト、資料を復習する。	
	5	体幹装具				授業内容に該当するテキスト、資料を復習する。	
	6	肩および肘関節装具				授業内容に該当するテキスト、資料を復習する。	
	7	末梢神経損傷におけるスプリント療法①(総論)				授業内容に該当するテキスト、資料を復習する。	
	8	末梢神経損傷におけるスプリント療法②(各論)				授業内容に該当するテキスト、資料を復習する。	
	9	スプリント製作実習オリエンテーション				授業内容に該当するテキスト、資料を復習する。	
	10	スプリント製作実習①(指スプリント)				授業内容に該当するテキスト、資料を復習する。	
	11	スプリント製作実習②(短対立スプリント)				授業内容に該当するテキスト、資料を復習する。	
	12	スプリント製作実習③(短対立スプリント)				授業内容に該当するテキスト、資料を復習する。	
	13	スプリント製作実習④(カックアップスプリント)				授業内容に該当するテキスト、資料を復習する。	
	14	スプリント製作実習⑤(カックアップスプリント)				授業内容に該当するテキスト、資料を復習する。	
	15	事例検討				授業内容に該当するテキスト、資料を復習する。	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				100%
	レポート						
	発表						
	発表・作品						
履修上の注意							

科目名	地域作業療法学Ⅰ						
科目名(英)	Community Based Occupational TherapyⅠ						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	中山 仁		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	作業療法士として病院勤務		
対象学科・学年	作業療法学科 夜間部 2年生						
授業概要	地域リハビリテーションでは、様々な専門職の人々や組織、場合によっては地域の住民とも協力して障害のある人とその家族が、住み慣れた場でその人らしく生きることを支援する。この授業ではまず、「地域リハビリテーション」について学ぶ。また地域リハビリテーションで「作業療法士の役割/業務を学び、「他職種との協業」について専門加より実際の支援の現状を聞き、理解を深める。						
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		・地域リハビリテーションについて説明できる	
	○	○		○		・地域リハビリテーションにおける作業療法士の役割/業務を説明できる	
	○	○		○		・地域リハビリテーションにおける他職種との協業について説明できる	
	○	○		○		・地域リハビリテーションにおける他職種の現状について調べまとめることができる	
テキスト・教材 参考図書	教科書:①香山 明美 他編:精神障害作業療法-生活を支援する-医歯薬出版 ②オリジナル資料						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	地域リハビリテーションの概要			地域作業療法学の疑問などをまとめる。 グループディスカッション		
	2	地域リハビリテーションと作業療法士			レポート①提出		
	3	地域リハビリテーションに関わる職種-介護支援専門員			講義内容を復習し、ノートを整理する		
	4	地域リハビリテーションに関わる職種-介護支援専門員			レポート②提出		
	5	地域リハビリテーションに関わる職種-社会福祉士			講義内容を復習し、ノートを整理する		
	6	地域リハビリテーションに関わる職種-社会福祉士			レポート③提出		
	7	地域リハビリテーションに関わる職種-作業療法士			講義内容を復習し、ノートを整理する		
	8	地域リハビリテーションに関わる職種-作業療法士			レポート④提出		
	9	地域リハビリテーションに関わる職種-看護師			講義内容を復習し、ノートを整理する		
	10	地域リハビリテーションに関わる職種-看護師			レポート⑤提出		
	11	地域リハビリテーションに関わる職種-理学療法士			講義内容を復習し、ノートを整理する		
	12	地域リハビリテーションに関わる職種-理学療法士			レポート⑥提出		
	13	地域リハビリテーション、通所サービス施設の実際1)高齢者			講義内容を復習し、ノートを整理する		
	14	地域リハビリテーション、通所サービス施設の実際2)児童デイ			講義内容を復習し、ノートを整理する		
15	地域リハビリテーション グループディスカッション 発表			グループディスカッション 発表 全体的な振り返りレポート⑦提出			
評価方法	成績処理方法:(1)講義レポートを7回実施する。(2)グループディスカッション後の発表を1回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験						
	小テスト						
	宿題・レポート	◎	◎				90%
	発表・作品	○	○		○		10%
履修上の注意	※外部講師の日程により講義内容が前後します ※欠課などにより授業が受けられなかった場合は、テーマに沿ったレポート提出ができれば配点あり						

科目名	見学実習						
科目名(英)	Clinical tour training						
単位数	1単位	時間数	45時間	担当者	作業療法学科教員 臨床実習指導者		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	作業療法士として病院勤務		
対象学科・学年	作業療法学科 夜間部 2年						
授業概要	臨床実習指導者の指導のもと、作業療法士として求められる倫理観や基本的態度を身につける。作業療法の評価や治療場面を見学し、作業療法士の臨床思考過程、医療現場におけるコミュニケーションの重要性とその技能について学習する。また、見学実習で経験したことについても報告する。						
授業形態	講義:	演習:	実習: ○	実技: △	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○			○		臨床実習指導者の指導のもと、作業療法士に求められる倫理観や基本的態度を実践できる。	
		○		○		多職種連携における作業療法部門の役割と特色、また他職種の役割について説明できる。	
		○	○	○		多くの作業療法実践場面を見学し、その臨床思考過程を聞いて、今後必要な知識や技術を把握する。	
		○		○		見学実習で得た知識や経験を他者と共有し、他者の経験から多様な視点、考え方を学ぶことができる。	
テキスト・教材 参考図書	1)見学実習ガイダンス 2)PT・OTのための臨床技能とOSCE(コミュニケーションと介助・検査測定編)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●見学実習事前セミナー:1月29日(月)～2月10日(土)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習における感染対策やリスク管理に関する講義を実施する。</li> <li>・見学実習に必要な知識・技術について講義等を実施する。</li> </ul> </li> <li>●見学実習:2月13日(火)～2月24日(土)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>* 施設の就業規定に応じて上記期間内で1週間実施(5日/週を基本とする)</li> </ul> </li> <li>●見学実習事後セミナー:2月26日(月)～3月2日(土)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設で学んだことを共有するグループワークと実習内容の発表を実施する。</li> <li>・見学実習提出課題について担当教員よりフィードバックを受ける。</li> </ul> </li> </ul>					
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	実習成績報告書に基づく臨床実習指導者による採点と学校への提出物、実習前後セミナーでの報告、態度・参加状況などを 総合的に判断して100点満点で判定する。 成績評価基準はA(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実習課題の遂行		◎	◎	◎		60%
	提出課題		◎		◎		20%
	発表		◎		◎		20%
履修上の注意							